

「宇部市自転車活用推進計画（素案）」 パブリックコメントの実施結果について

1 実施概要

- (1) 意見募集期間：令和2年7月27日（月曜日）から令和2年8月24日（月曜日）まで
- (2) 意見提出者：4人
- (3) 意見件数：7件

2 素案に対するご意見と市の考え方

項目	件数	市の考え方の区分			
		A： ご意見を踏まえて計画案に反映するもの	B： ご意見の趣旨がすでに計画案に反映されているもの	C： 今後の参考とさせていただくもの	D： その他
計画全体に関すること					
第1章 計画の概要					
第2章 近年の自転車情勢					
第3章 宇部市における自転車利用の現状と課題					
第4章 計画の基本方針					
第5章 計画の実施	4	1	1	2	
第6章 計画の実現に向けて					
その他の意見や提案等	3			2	1
計	7	1	1	4	1

ご意見と市の考え方

貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見とご意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

番号	ページ	ご意見の概要	市の考え方	区分
■第5章 計画の実施				
1	P75	<p>寿橋通りの宇部警察署前東から東新川駅東踏切までの道路は自転車で走行しにくいですが、路線の重要度が低く（重要度1）、評価方法に疑問を感じる。</p> <p>自転車で各路線を走行し、改善が必要な要素を評価検討項目に追加する必要があるのではないかと。</p>	<p>各路線の重要度は「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（国土交通省・警察庁）」に基づき、自転車の利用状況や事故発生箇所等を考慮し、評価しています。</p> <p>そのため、部分的に交通安全対策が必要な路線でも、自転車ネットワーク路線としての重要度は低い評価となっております。</p> <p>ご指摘の路線につきましては、今後の自転車利用状況等を確認した上で、追加を検討します。</p>	C
2	P101	<p>サイクリストに人気のあるルートや観光施設を巡るサイクリングルートの整備に関し、「ときわ湖水周遊コース（現在は歩道のみ約6km）」を自転車専用道と歩行者通路に区分して開放してほしい。</p> <p>自然環境に恵まれており、全国的にも自慢できるサイクリングコースになると思います。</p>	<p>これまでに、ときわ公園周遊園路の自転車乗り入れの社会実験やアンケートの実施等、園内における自転車利用の可能性を検討してきました。しかしながら、現在の周遊園路の通行実態や幅員が不十分であることから、来園者の安全を確保できないため、園内での自転車利用を禁止しています。</p> <p>園内での自転車利用については、様々な意見や考え方がありますが、来園者の安全面を第一に、今後も公園運営のあり方を検討してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	C

番号	ページ	ご意見の概要	市の考え方	区分
■第5章 計画の実施				
3	—	<p>数年前から自転車レーンとして路面の左端をカラー化する対応をされているが、非常に利用しづらい。</p> <p>宇部中央高校前の自転車レーンは、路面の破損、段差、継ぎ目等、スムーズに走行できる状況ではない。特に進行方向の縦の段差は、転倒リスクを高める要因であり、万が一道路の中央側に自転車が倒れた場合のことを考えると安心して利用できないため、従来通り、歩道を走らざるを得ない状況である。</p> <p>まずは担当者自身が走った上で、自転車利用者にとって安全に走行できる自転車通行空間の整備を検討していただきたい。</p>	<p>これまで、自転車レーンや矢羽根型路面表示の設置を行ってきましたが、ご指摘のとおり、宇部中央高校前道路の自転車レーンにつきましては、設置後約6年が経過し、路面の劣化が進行しています。</p> <p>このような路線については、本計画の「5.1.2 (4)適切な維持管理」で示していますように、自転車利用者が安全に利用できるよう適切な維持管理に努めてまいります。</p> <p>また、今後、整備を進めていく路線については、自転車レーンを設置するだけでなく、道路の補修も併せて行う等、安全に利用できる自転車通行環境の整備を進めていきます。</p>	B
4	—	<p><中・高校生たちの通学路の安全面について①></p> <p>車から自転車への転換を図ることについてはもちろんであるが、日常的に自転車を通学等に利用している中・高校生たちの通学路の安全面について、早急に改善をお願いしたい。現在、歩道の広い部分に自転車を乗り入れているケースがほとんどであると考えられるが、宇部高校周辺（山門）では細い歩道に自転車が乗り入れており、その歩道も突然とぎれたりしていて、歩行者も自転車利用者も危険な状態にある。道幅が狭いところに縁石を設けているため（車からすると縁石があったほうが安心して走りやすいと思われる）、歩道からあふれた自転車はずっと車道を走ることになり、これがまた渋滞を生む。この付近については抜本的な道路改修が望まれる。</p> <p>①特に、宇部高校周辺、山口大学工学部通りの自転車レーンの整備を強く要望する。</p>	<p>学校周辺における、歩行者、自転車及び自動車の輻輳や、道路構造上の危険性等の実態を踏まえ、以下路線を、整備対象路線として追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇部高校周辺（市道沼風呂ヶ迫町線） ・宇部フロンティア大学附属香川高校周辺（市道藤曲厚東川線） 	A

番号	ページ	ご意見の概要	市の考え方	区分
■その他の意見や提案等				
5	—	<p><中・高校生たちの通学路の安全面について②> ②縁石の在り方を見直す。場合によっては撤去。</p>	<p>縁石は、車両が進行方向を誤って歩道へ進入することを防止する役割があり、歩行者の安全な通行を確保することが目的のため、原則、撤去しないこととしております。しかしながら、歩道が狭く、歩行者や自転車利用者にとって危険である箇所につきましては、部分撤去を含め検討してまいります。</p>	C
6	—	<p><中・高校生たちの通学路の安全面について③> ③時間帯による速度制限。(車も自転車を同じ速度で走行)</p>	<p>速度規制に関する管轄は、警察署になりますが、自転車利用者の安全を確保するためには、ハード対策だけでなく、速度規制等の措置も必要となります。 市としましては、自転車レーンの整備を進めるとともに、速度規制等の安全対策について警察署に要望していきます。</p>	C
7	—	<p>自転車活用推進計画のパブリックコメントが実施されていることを、ある会議で初めて知りました。 パブリックコメントが広く市民に周知されるよう検討していただきたい。</p>	<p>今後、パブリックコメントが広く市民に周知されるよう広報していきます。</p>	D